多次元コードの説明

■多次元コードの説明

平面に2進数化した情報を格納した情報形態のこと

1次元コード = バーコード

•2次元コード = QRコード等

■1次元コードの説明

横方向に情報を格納している多次元コード

情報の格納に用いているのが横向きのみ → 1次元



■2次元コードの説明

横方向と上下の高さにも情報を格納している多次元コード

情報の格納に用いているのが横と高さ → 2次元



作品概要の説明

■概要

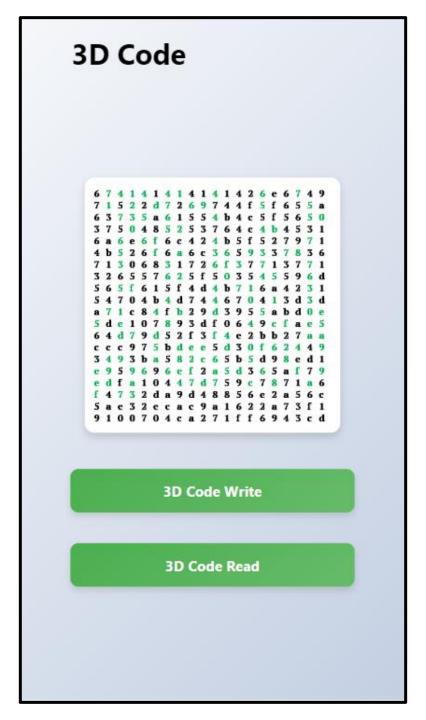
2次元コードの各ビットに情報を付加し、3次元化を目指す

- ビット部を文字列にすることで情報量を増やす
- メタデータを色で表現

同じ面積で約9倍の情報を格納できる

完成品

■Webサイト



■5W1H

• who : 情報を共有したい人

where : オフラインで

when : 大量の情報を共有したいとき

• why : 一度に共有できる容量が足りない

what : 格納量が多い3次元コードを利用する

• how : オフラインで大量の情報を共有できる

機能概要の説明

ユーザが任意の文字列を入力 ↓ セキュリティ強化のため暗号化する

イメージ: こんにちは ↓ 07Gj07Kj07Gb07GR07Gf

暗号化した文字列
↓
任意文字数ごとに分割する(現在は120文字ごと)

イメージ: 07Gj07Kj07Gb07GR07Gf ↓ 07Gj 07Kj 07Gb 07GR 07Gf

分割した暗号文 ↓

分割した文字列ごとにリードソロモン符号(誤り訂正符号)を付与

イメージ:

07Gj 07Kj 07Gb 07GR 07Gf
↓

07Gj¥x30¥x37¥x47¥x6a

07Kj¥x30¥x37¥x4b¥x6a

07Gb¥x30¥x37¥x47¥x62

07GR\(\pm\x30\pm\x37\pm\x47\pm\x52\)
07Gf\(\pm\x30\pm\x37\pm\x47\pm\x66\)

■概要:「多次元コード生成部分・文字」

リードソロモン符号(誤り訂正符号)を付与した文字列 文字列を16進数に変換し結合

イメージ:

07GiYx30Yx37Yx47Yx6a07KiYx30Yx37Yx4bYx6a07Gb¥x30¥x37¥x47¥x6207GRYx30Yx37Yx47Yx5207Gf¥ \times 304 \times 374 \times 474 \times 66

e38080e380803037476a5c7833

イメージ: 4 d 4 a 3 8 5 c 6 4 4 1 4 1 4 0 0 1 4 0 4 7 6 7 7 a 0 4 7 6 7 7 a 0 b 4 7 4 a 0 5 6 5 5 6 0 d 2 1 5 1 6 6 4 0 3

完成品(暫定)

メタデータとして2つの情報をまとめる

- 暗号化した後の文字数
- リードソロモン符号を付与した後の文字数

イメージ:

[140, [456, 91]]

メタデータの情報に誤り訂正符号を付与する

イメージ:

誤り訂正符号を付与したメタデータ ↓ 2進数に変換

イメージ

イメージ:

表情報が正方形になるように n^2 の文字数になるまで末尾に0を付与
↓
表情報を正方形に並べる

イメージ:

4 d 4 a 3 8 5 c 6 4 4 1 4 1 4 0 0 1 4 0 4 7 6 7 7 a 0 4 7 6 7 7 a 0 b 4 7 4 a 0 5 6 5 5 6 0 d 2 1 5 1 6 6 4 0 3 0 5

 \rightarrow

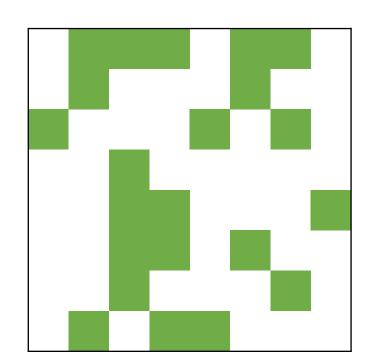
4 d 4 a 3 8 5 c 6 4 4 1 4 1 4 0 0 1 4 0 4 7 6 7 7 a 0 4 7 6 7 7 a 0 b 4 7 4 a 0 5 6 5 5 6 0 d 2 1 5 1 6 6 4 0 3 0 5 0 0 0 0 0

表情報を正方形に並べる

裏情報の2進数に合わせて文字色を変更する

イメ―ジ:

4 d 4 a 3 8 5 c 6 4 4 1 4 1 4 0 0 1 4 0 4 7 6 7 7 a 0 4 7 6 7 7 a 0 b 4 7 4 a 0 5 6 5 5 6 0 d 2 1 5 1 6 6 4 0 3 0 5 0 0 0 0 0



表情報を正方形に並べる

裏情報の2進数に合わせて文字色を変更する

イメージ:

4 d 4 a 3 8 5 c 6 4 4 1 4 1 4 0 0 1 4 0 4 7 6 7 7 a 0 4 7 6 7 7 a 0 b 4 7 4 A 0 5 6 5 5 6 0 D 2 1 5 1 6 6 4 0 3 0 5 0 0 0 0 0

完成品(暫定)

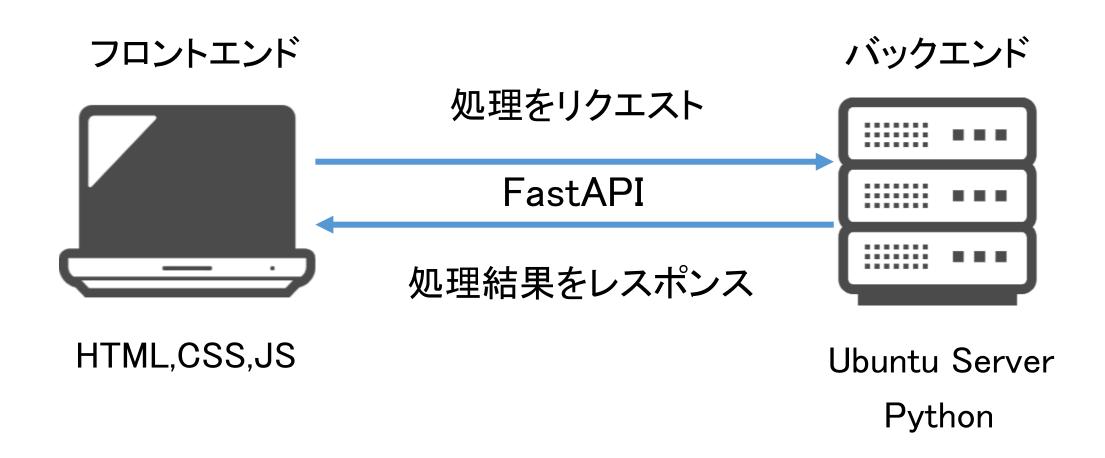
■概要:[多次元コード読み取り部分・色]

```
OCR(文字読み取り)で分割し、一文字ずつ色を検知
↓
読み取れない場合は0を代入する
(全体の文字数がずれるのを防ぐため)
↓
メタデータの復号
```

■概要:[多次元コード読み取り部分・文字]

```
OCR(文字読み取り)で分割し、一文字ずつ文字を検知
読み取れない場合は0を代入する
(全体の文字数がずれるのを防ぐため)
必要のない文字の除去
メタデータを参照し、表情報を復号
文字の読み取り完了
```

■処理フロー



■使用技術

•OpenCV 画像処理

•PyOCR 文字検知

■FastAPI WebAPI作成

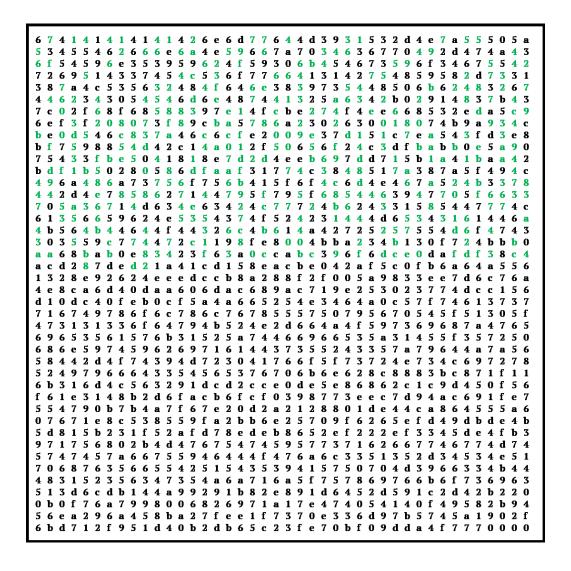
• Docker サーバー構築

■IOS端末のカメラ仕様

サーバー側にAPIリクエストを送信すると、 getUserMediaのカメラが止まってしまう仕様になっている

Android端末だと正常に動作していた

■QRコードと3D-Codeの比較



42×42=1764マス で270文字を表示

十暗号化されている

■QRコードと3D-Codeの比較



57×57=3249マス で270文字を表示

暗号化されていない